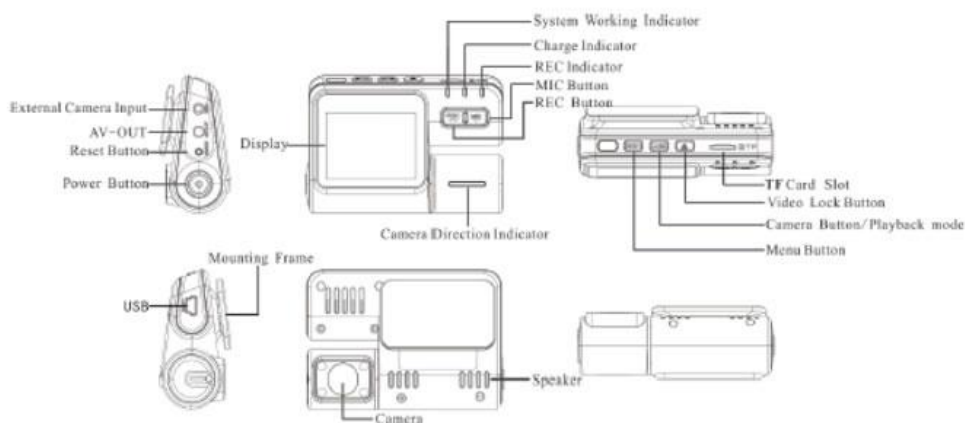


## 本体図およびボタン機能



### ボタン機能

#### 1. 電源ボタン:

①電源のオン／オフ;電源オフの状態では3秒間長押しすると、電源がオンになり、本体が起動します。電源がオンの状態で3秒間長押しすると、本体は自動的に記録を保存して電源がオフになります。

②補助ライト;スタンバイ状態で、【電源ボタン】を短押しすると補助ライトのモードを点灯／消灯／オートから切り替えることができます。自動モードでは、補助ライトは感光抵抗またはカメラレンズが感知した明るさによって自動制御されます。

#### 2. メニュー／切替ボタン:

①モニターのオン／オフ切替:電源オンの状態で、3秒間長押しするとモニター表示がオフになり節電モードに入ります。再度長押しすると復帰します。  
(この機能は画面表示のみ有効で、録音機能には影響しません)

②設定メニュー:スタンバイ状態で、短押しすると設定メニュー画面が表示されます。上下ボタンでメニュー画面のページを切り替えることができます。設定する機能を選択したら、【録画ロック】ボタンを短押しして決定します。設定が完了したらメニューボタンを短押しするとメニュー画面に戻ります。  
【注意】動画撮影モード／画像撮影モード／プレイバックモードでも設定方法は同じです。

### 3. 画像撮影／プレイバック:

①画像撮影:スタンバイ状態で、このボタンを押すと画像撮影モードに入ります。もう一度押すと画像の撮影ができます。

②プレイバック:スタンバイ状態で、3 秒間長押しすると、プレイバックモードに入ります。録音ボタンが録画ボタンを短押ししてプレイバックするファイルを選択し、再度このボタンを短押しすると録画したファイルを再生することができます。退出する場合、ボタンを3 秒間長押ししてください。

③再生／一時停止:プレイバックモードで短押しすると再生／一時停止できます。

### 4. ワンタッチ録画ロック／カメラ画面切替:

①緊急ロック機能:録画モードで、ご使用の車輛が衝突などの事故に遭遇した場合、このボタンを3 秒間長押しすると緊急ロックがかかります。事故発生の10 秒前から20 秒後までの間の記録を特別に1 つファイルに保存し、上書きされないようロックします。

②動体検知(モーションディテクト)モード切替:スタンバイ状態で3 秒間長押しすると、モーションディテクトモードがオンになります。再度長押しすると

オフになります。

③決定・確認: 設定メニュー画面で選択した項目を決定します。

④カメラ切替: 外付けバックカメラを接続され、カメラの映像信号の入力を識別すると、本体画面の下部にカメラのアイコンが表示されます。ボタンを短押しすると、前方／後方／ピクチャインピクチャの 3 つモードを切り替えることができます。

#### 5. 録画ボタン/前のページ:

①録画モード起動: スタンバイ状態で、このボタンを短押しすると、録画撮影が開始します。録画中に再度短押しすると停止します。

②前のページ: 設定メニュー画面またはプレイバック画面で押すと前のページに移動します。

③正像／鏡像切替: スタンバイ状態で、3 秒間長押しすると映像モードの正像と鏡像を切り替えることができます。

#### 6. ミュート/次のページ:

①録音オフ: 記録モードでこのボタンを短押しすると録音がオフになり、画面右下のマイクアイコンの色が白に変わります。オフの状態ですと再度短押しすると録音がオンになり、アイコン表示が元に戻ります。

②次のページ: 設定メニュー画面またはプレイバック画面で押すと次のページに移動します。

③反転: 起動状態で 3 秒間長押しすると画像が反転します。もう一度押すと元に戻ります。

#### 7. リセットボタン: 本機器がフリーズした場合、このボタンを短押しすると、再

- ⑦カメラの位置を調整し、必ず地面に水平になるように設置してください。
- ⑧エンジンを起動し、機器が安全に取り付けられているかどうか確認してください。

【注意】正しく取り付けられていれば、本体のインジケータと充電ケーブルのランプが点灯します（充電が完了すると消灯します）；録画インジケータが点灯し、機器が起動して記録状態になります。この時ディスプレイの画面表示が正常かどうか注意してください。もし画面が反転している場合は、設定メニューのカメラ画像の反転の設定を切り替えてみてください。

## II 機能詳細

### 1. 自動記録機能

車輛のエンジンを起動すると、ドライブレコーダーは自動的に起動して録画を開始します。また、充電コードのランプと録画インジケータが点灯します。車輛のエンジンを切ると、ドライブレコーダーは自動的に記録中のファイルの保存を完了し、12 秒後に電源が切れます。記録した映像はいくつかのファイルに分かれて TF に保存され、容量がいっぱいになると、古いファイルから順に上書きされていきます。

【注意】a.記録ファイル時間はメニュー画面から設定できます；1/2/5 分の三段階があり、デフォルトでは 1 分に設定されています。

b.録画解像度は HD720p/VGA から選択して設定できます。デフォルトでは HD720p に設定されています。

c. 前後のカメラで撮影した映像は TF カードの【DCIMA】フォルダと【DCIMB】フォルダに保存されます。

起動します。

**【ヒント1】** ドライブレコーダーの取り付け

① 車輻のエンジンを切ります。

② TF (micro SD) カードを本体ソケットに挿入してください。【注意】スピードクラス 6 以上のカードを使用してください。対応容量は 512MB 以上、32GB 以下です。

③ ドライブレコーダーのスタンドをフロントガラスに粘着または吸着させてください。

【注意】物陰になったり視野を遮断したりすることのないよう、適切で安全な位置にドライブレコーダーを設置してください。バックミラーの両側への取り付けをおすすめします。設置する場所はあらかじめ柔らかい布で汚れや水滴などを拭いて清潔にしてください。スタンドを粘着した後で位置の調節が必要な場合は、付属の綿糸でスタンドの縁に沿ってゆっくり引っ張り、両面テープをフロントガラスから剥がしてからスタンドを取り外してください。

④ 本機器の電源ソケットを車輻のシガーライターに挿入します。

⑤ 充電延長コードでドライブレコーダーの USB ポートと電源ソケットを接続します。

【注意】配線を行う際は充電延長コードをフロントガラスの縁に回してください。

⑥ 車輻後部にバックカメラを設置する際は、方向に注意してください。配線を行う際は車輻のルーフに沿って回してください。取り付けが完了したらプラグを本体のバックカメラ映像入力端子に接続してください。

## 2. 手動記録機能

ドライブレコーダーの電源ボタンを 3 秒間長押しすると、起動して自動的に録画を開始し、インジケーターが点灯します。電源をオフにする場合、電源ボタンを再度 3 秒間長押しすると、自動的に記録をファイルに保存して電源が切れます。

## 3. 画像撮影機能

電源がオンの状態で、カメラボタンを短押しすると画像撮影モードに入り、ディスプレイの左上のカメラアイコンがビデオカメラから切り替わります。再度短押しすると撮影することができます。動画記録モードに戻す場合は、録画ボタンを短押ししてください。

## 4. 動体検知(モーションディテクト)機能

スタンバイ状態で、緊急録画ロックボタンを 3 秒間長押しすると、動体検知機能モードに入ります。カメラが周辺に移動する物体を感知すると、本体は自動的に録画を開始し、5 秒間静止が検出されると、自動的に録画を停止します。退出する場合は、緊急録画ロックボタンを 3 秒間長押ししてください。

**【ヒント】**長時間動体検知機能を使用する場合は、別途外部電源を購入して使用してください。

**【注意】**この設定は記憶されません、次回起動時は録画モードに戻りません。

## 5. カメラの反転切替機能

本体のカメラは 300 度旋回します。前方撮影中は、画像表示は正相(デ

フォルト)です;カメラを 180 度回転した場合、画像は反相で表示されますので、正相に戻す場合は画像モードで反転させてください。ドライブレコーダーのカメラ画像正／反相切替方法;マイクボタンを秒間長押しします。  
【注意】この設定は記憶されません。次回起動時はデフォルト設定になります。

## 6.G センサー機能

本体内蔵の衝撃センサー(G-sensor)は、車輛の衝突などに遭遇した場合、発生の 10 秒前から 20 秒後までの映像を自動的に記録し、特別に 1 つのファイルに保存し、ループ録画でも上書きされないよう自動的にロックします。この時画面にロックアイコンが表示されます。

【ヒント】 1.ロックされた録画ファイルには名称の冒頭に「ZW」が付きまふ。ふつうのファイルの冒頭は「AW」が付きまふ。 2.G センサーは感度の調節が出来ます。デフォルトでは「中」に設定されています。必要に応じて設定メニューから設定を行ってください。

## 7. ワンタッチロック機能

本機器にはワンタッチロック機能があります。確実に保存したい映像ファイルはロックすればループ録画でも上書きされまふ。記録モードで、ワンタッチロックボタンを短押しすると、ドライブレコーダーはその時点から 10 秒前から 20 秒後までの記録を保存し、ロックします。

## 8. 日時設定

スタンバイ状態でメニューボタンを 3 回短押しすると、設定メニュー画面に

入ります。録音ボタン／録画ボタンを短押ししてカーソルを日時設定に合わせて、撮影ボタンを短押しして決定すると、日時設定画面が表示され設定を行うことができます。

**【注意】**安全運転と事故の証拠として有効にするために、日時の設定は取り付け後すぐに正確に行ってください。

#### 9.ワンタッチミュート機能

作動中にミュートボタンを短押しすると、画面の左下のマイクアイコンが白になり、録音機能がオフになります。この場合映像に音声は記録されません。:再度短押しするとマイクアイコンが元に戻り、録音機能が復帰します。

**【ヒント】**設定は自動保存され、次回起動時もミュート機能は有効です。

#### 10. USB モード

ドライブレコーダーを USB データケーブルで PC の USB ポートに接続すると、本体画面にディスク／カメラ／充電の3つモードの選択画面が表示されます。前／次のページボタンで選択して、決定ボタンを短押しして USB モードに入ります。**【ヒント】**PC にファイルをコピーする際は、ファイルが保存された TF カードを、SD アダプタを使用して PC のカードスロットに挿入して行ってください。

#### 11.画像ファイルのプレイバック

起動状態で撮影ボタンを3秒間長押しすると、プレイバックモードに切り替わります。前／次のページボタンで再生するファイルを選択し、撮影ボタンを短押しすると再生できます。退出する場合は、再度撮影ボタンを3秒



間長押しします。

## 12. GPS 機能

本体が起動中で、AV 端子に GPS モジュールが挿入されていない場合、GPS アイコン表示は禁止状態になります。GPS モジュールを AV 端子に挿入すると、GPS の禁止表示が消え、点滅します。屋外であれば 1 分程度で測位を行い、GPS アイコンの点滅が停止したら、測位完了です。録画機能を起動すれば、走行記録は自動的に GPS ファイルに生成されます。

**【ヒント】**GPS ファイルは MAP フォーマットです。(注:この機能は車輛の型式によって異なります)

## 13. バックビュー

必ず充電器をドライブレコーダーに接続し、カメラの黒赤のケーブルをバックランプ電源に接続します。電源ソケットをシガーライターに挿入した状態で、車輛のギアをバック(R)に入れると、自動的にバックカメラモードに切り替わり、バック映像が画面に表示されます。バックが完了すると本体は自動的に録画モードに戻ります。

**【ヒント】**画像撮影モードでバックした場合、バックが完了すると画像撮影モードに戻ります。(注:この機能は車輛の型式によって異なります)